

# 令和 7 年度 学校経営について

甲州市立奥野田小学校

## 1 校訓 「 至誠 親切 勤労 」

## 2 学校教育目標 「自ら学ぶ子ども」の育成

### 具体目標（めざす子ども像）

- 自分で考え 進んで学ぶ子ども（知育）
- 思いやりのある 情操豊かな子ども（徳育）
- 体を鍛え 生命を大切にする子ども（体育）

## 3 学校経営の柱

- わかって楽しい授業づくり
- 居心地のよい集団づくり
- けじめのある生活づくり
- 安心安全な教育環境づくり

## 4 学校経営の努力点と具体策

### （１）豊かな心の育成と生徒指導の充実に努める。

- ① 児童とのコミュニケーションを意識し、心に寄り添った関わりを心がける。
- ② 「生命を大切にすること」を基本に、心に響く道德教育を行う。
- ③ あいさつ運動、児童会、異年齢集団活動を効果的に行う。
- ④ QUを活用した学級集団づくりを行い、いじめ・不登校のない、楽しい学級づくり・学校づくりに努める。
- ⑤ 相談活動を充実させ、児童の心の居場所作りや担任との人間関係作りに努める。
- ⑥ 体験活動を通して、思いやりの心や公德心を育てる。

### （２）「生きる力」を育む適切な教育課程を編成し、実施する。

- ① 授業時数特例校制度を活用し、地域や学校の実態に即した特色ある教育課程を編成し、主体的な学びにつなげる。
- ② 環境教育、福祉教育、情報教育、国際理解教育、キャリア教育、道德教育を学校教育活動全体の中で推進する。また、プログラミング教育等については、教科横断的な取組も視野に入れて効果的に取り組む。

### （３）確かな学力を育む指導と評価に努める。

- ① すべての児童に基礎的・基本的な学習内容を習得させるために、児童の実態に応じた指導法の工夫や有効なT.T.指導に取り組む。

- ② 「甲州市ティーチャーズノート」を参考にし、デジタルとアナログを併用した、楽しく、わかりやすい授業実践に努める。
- ③ 「家庭学習の手引き」等を活用して、ICT 端末を効果的に活用した家庭学習の定着を図る。
- ④ 読書活動の充実と図書室の有効活用に努める。
- ⑤ 外国語の授業の充実・日常的な外国語活動に取り組む。
- ⑥ 校内研究・甲州市プロジェクト・教協研究会での学びを日々の教育実践に生かす。

(4) 健康、安全教育及び食育の充実と体力の向上に努める。

- ① 授業・体育的行事・すあしマラソン・食育などを通して、健康な体づくりや体力の向上に努める。
- ② 基本的生活習慣の育成に努め、健康について意識し生活できるように指導する。
- ③ 安全教育・防災教育（避難訓練）を通して、日常生活における事件・事故・災害等に対し、的確に判断し、行動できるよう対処法を学ばせる。

(5) 特別支援教育の充実に努める。

- ① 校内での情報の共有化を図り、全校体制で計画的・組織的な支援に努める。
- ② 家庭や関係諸機関との連携を図りながら、個に応じた効果的な支援・指導にあたる。
- ③ 全職員の特別支援教育についての理解を深め、組織的に対応する。

(6) 学校・家庭・地域との連携を図り、開かれた信頼される学校づくりを推進する。

- ① 地域の伝統文化、自然環境、郷土資料などを生かした地域に根ざした教育を推進する。
- ② コミュニティ・スクールとしての機能を活かし、地域の方々との連携をとり、地域と共にある学校をめざす。
- ③ 学校便りや学年便り等を発行し、家庭や地域に学校の様子を積極的に知らせる。

(7) 教師としての自覚を持ち、自己研鑽に励み、組織的・計画的に教育活動を展開する。

- ① 本校の教育課題を明確にし、全職員で共通理解を図り、協働体制で組織的に教育に取り組む。
- ② 各種研修や校内研究会などを通して、教師力・人間力を高める。
- ③ 時代の流れに沿った対応ができるよう常に研鑽に努める。
- ④ 働き方を見直し、時間外在校等時間が月45時間を超えないよう創意工夫を行う。

## 5 適切な計画及び検証と改善

P D C A サイクルを機能させ、学校教育を充実させるための改善策を適時講じていく。その際、ねらいを明確にし、迅速に取り組む。